

KOMATSU

ふたたび走り出すために。
未来へと走り続けるために。

現場のニーズに応えつつ、地球環境にやさしい車を。そんな願いを込めて開発された FE25G/30G-2 は、長時間稼働と環境負荷の低減を両立する電動式フォークリフトです。エンジン車に匹敵するパワーと走行性能を持ちながら、長時間の稼働を可能にした大容量リチウムイオンバッテリーは、環境にやさしく長寿命。これまででない急速充電と繰り返し充電にも対応します。大容量リチウムイオンバッテリー搭載長時間稼働モデル FE25G/30G-2。現場の課題と地球環境に向き合い、未来へと走り続けるコマツのメッセージです。

FE25G / 30G-2
Electric forklift truck

コマツカスタマーサポート株式会社
〒108-0072 東京都港区白金1-17-3 [URL] <https://kcsj.komatsu/>

充電後のケーブルを自動で巻き取り・スッキリ収納
フォークリフト充電用オートリール
since 1921

事業所の整理整頓・衛生管理
事故防止・安全対策に貢献します

工場・倉庫・配送センター・市場などに

FCR-10GS型

株式会社 **ハタヤ** リミテッド **ハタヤオーケーエス株式会社**
本社：名古屋市中区大須四丁目10番90号
仙台・東京・北関東・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡

顧客サービスデスク
0120-686-888
<https://www.hataya.jp>

町工場の重労働を快感に変えます！

フォークリフト用からくりダンパカート

フォークン
FORKckle-N

株式会社 **津田工業**
〒504-0957 各務原市金属団地 80-4 TEL 058-371-1422 FAX 058-382-4398
URL: <http://www.tsuda-kogyo.co.jp>

フコク

フコクはクレーン設備のない倉庫などに向けて鋼板搬送リフト「フォークリフト用 JVD パキュウムリフト」を発売している。

パキュウムリフトのフレームに差し込んだフォークリフトのツメを上下させると、リフト本体が真空

コマツ

コマツが2022年秋に発売したリチウムイオンバッテリー搭載フォークリフト（FE25G-2/FE30G-2）の売れ行きが好調だ。一般的な鉛バッテリーの約3倍の寿命や2口による急速充電などを特徴とし、長時間稼働と環境負荷低減の両立を実現す

白光機器

白光機器の「デジタル荷重計、ロードセンサー」はフォークリフト、ショベルローダー用に開発された後付けが可能な荷重計。積載量400kgクラスの小型車両から同40tクラスの大型車両まで取り付けられる。高精度圧力センサーを備え、油圧低下など

ハタヤオーケーエス

ハタヤオーケーエスのフォークリフト充電用「オートリール」は、バッテリーフォークリフトや無人搬送車（AGV）の充電に適したケーブルリールだ。自動巻きなので充電後のケーブルが床に散乱せず、誤って踏んでプラグを破損することがない。作

津田工業

津田工業の「フォークるン」は投入された鋼板端材などをフォークリフトの操作のみで人の手をかけずに容易に搬出、排出できる大型回収箱。容量別で190kgと313kgの2種がある。回収箱本体の上面より高い左右の位置にフォーク

を発生し鋼板の吸着・離脱作業を行うため電気、エアなどの動力は不要。鋼板ほか、各種板材の物流倉庫での仕分け作業やトラックへ1枚ずつ積み込む作業に威力を発揮。定尺鋼板5×10（1524mm×3048mm）までのサイズ、最大1000kgまでを安全に搬送。同社は吊り上げる材料や作業内容ごとに最適なパキュウムリフトの提案を随時行っている。

同製品はコマツ独自の充電制御システムにより、大容量の充電を効率的に行える。1口充電の2分の1の時間で充電できる2口充電の場合、バッテリー容量20%から100%までの充電時間は約55分。一方で、同製品は一般的な鉛バッテリー式フォークリフトの約8分の1の時間で充電できる。

に対して荷重を補正でき、載せ替えも可能である。2019年4月には新荷重計を発売。個々の荷物を計測する標準タイプ「DLSA」と過積載防止など荷役作業に必要な積算機能を搭載する「DLSAT」があり、プリンター装着によりデータ管理できる。精度が必要な用途にはロードセルを使用した荷重計も用意。

業環境改善の推進を重視する国際標準化機構（ISO）認証事業所にも適している。

また壁・床・天井など、好みの場所に取り付けられる。30kg大容量集電装置により、長時間の連続充電が可能だ。耐熱性に優れた2PNCケーブルを採用し、任意の場所で止められるラチェットストッパーを内蔵。修理にも対応する。

の爪を通せる保持部を設置。片側はL字形の側板で底部にヒンジで固定する。側板側だけに爪を通し、持ち上げると回収箱が反転して内容物が排出される。両側に爪を通せば水平に吊り下げ移動できる。フォークリフト操作だけで安全に排出できるよう重量バランスなどの設計を工夫し、関連特許も取得した。

環境・安全の向上に挑む

フォークリフト

フォークリフトは物流施設や工場での積み替え・搬送の中核を担い、荷役作業を行う現場で広く使われている。中・小型機種を中心にバッテリー式が主流となり、現場環境のクリーン化や、カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）への取り組みなどから、燃料電池（FC）搭載モデルへの期待も高まっている。幅広い現場で人と協働するフォークリフトは、安全対策の徹底とともにユーザーの安全意識の向上も求められる。

「**バッテリー式**」シフト進む

日本産業車両協会の調べによると、2024年のフォークリフトの国内販売と輸出の合計台数は10万1700台で、バッテリー式の割合は66%、ガソリン式12・5%、ディーゼル式21・5%だった。バッテリー式の比率は1994年の33%、2004年36%、14年43%と、フォークリフトの動力はバッテリー式へのシフトが進んでいる。バッテリー式は排ガスが出ず、音も静かなため、工場や倉庫、物流施設といった建屋内での作業が多い現場で好まれ

21,568台
ディーゼルエンジン
ガソリンエンジン
100,170台
バッテリー
66,132台

日本産業車両協会発表資料を基に作成
2024年 フォークリフト(国内販売+輸出)の動力別構成比

安全意識の向上徹底

フォークリフトは物流施設での荷役作業や工場の受け入れ・出荷に欠かせない産業車両だ。重量物を持ち上げる荷役能力、自由に移動できる機動性がフォークリフトの特徴だが、一瞬の不注意や誤った使い方、大きな事故につながる。安全意識の向上が求められている。

24年にはフォークリフトが関係する労働災害で1953人の死傷者が発生し、うち16人が命を落としている。死傷者数は20年からは減少したが、引き続き安全対策の徹底が求められる。事故のタイプを見ると「はさまれ・巻き込まれ」が683人と最多で、続いて「激突・され」が564人、「墜落・転落」が215人、「激突」が148人となっている。業種で見ると「運輸交通業」が641人と最多で、続いて「製造

「安全の日」開催

安全な取り組みを啓発する「フォークリフト安全の日」（日本産業車両協会提供）

フォークリフトなどのメーカー団体である日本産業車両協会は、安全啓発への取り組みを強化するため、21年度から7月第一週を「フォークリフト安全週間」とし、フォークリフトの事故防止、安全確保の徹底について情報発信している。

フォークリフト安全週間のメインイベントとして7月4日に「フォークリフト安全の日」が女性就業支援センターホール（東京都港区）で開催され、150人が参加した。

会場では「フォークリフトに起因する労働災害発生状況」「フォークリフトの安全技術の取り組み」「フォークリフトの安全な使用に関するユーザーの取組み」などのテーマで報告・発表が行われ、フォークリフトの安全に関わる製品やサービスの紹介コーナーも設けられた。

フォークリフト・ショベルローダー用

デジタル荷重計

デジタル荷重計やアナログ式荷重計、スピード警報装置など安全機器を豊富に取り揃えています。

ロードセンサー

作業者は安全！
管理者は安心！
総合的には安価！

写真はデジタル荷重計DLSAタイプにプリンターを接続したものです

白光機器株式会社
〒676-0113 兵庫県古川市平岡町中野581-1
TEL079(437)0630(代) FAX079(437)0444
www.hakko-kiki.co.jp

2024年、世界の平均気温の上昇は「産業革命以前に比べて1.5℃」を超えてしまった。

でも、まだ食い止められる。まだ諦めるわけにはいかない。

このまま温暖化が進んだら、あらゆる生命の営みが脅かされてしまうから。

個人がそれぞれに取り組むだけでなく、もっと社会の根本からその構造を変えることが必要だ。

だから、ひとりひとりが、もっと声を上げよう。

その声や情報をメディアは東ね、政府・自治体・企業に届けていこう。

社会を動かす大きな力に変えていこう。

世界がこの目標を定めたパリ協定から10年。

今年は、過去最多となる169以上のメディアが参加する。

これだけのメディアが集まって、何も変えられないということはないはずだ。

いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。

1.5℃の約束

日刊工業新聞社は「SDGメディア・コンパクト」加盟メディアとして、気候アクションを推進する国連のACT NOWキャンペーンを支援しています。

日刊工業新聞社

ACT NOW

動力のいらない
フォークリフト用 **JVD/パキュウムリフト**

1000Kgまでの鋼板を 安全に素早く搬送

■安全で確実！省エネ設計
■驚異のパワフル吸着
■画期的な真空吊り具

こんな業界で
大活躍!!

設計機械工場
板金・製缶工場
車輛工場
アルミ・銅・ステンレス加工工場

クレーン設備のない倉庫などに向けてフコクが発売した鋼板搬送リフト「フォークリフト用 JVD パキュウムリフト」。フォークリフトを用いて無動力で吸着・離脱が自動で行えるのが特長だ。

パキュウムリフトのフレームへ差し込んだフォークリフトのツメを上下させることでリフト本体が真空を発生し鋼板の吸着・離脱作業を行うため、電気、エアなどの動力がいらない。鋼板はもちろん、非鉄金属、建材、パネルなどの物流倉庫での仕分け作業やトラックへ1枚ずつ積み込む作業に威力を発揮する。

また、同社ではユーザーに安全に使ってもらおうと、吊り上げる材料や作業内容を確認した上で最適なパキュウムリフトの提案・見積りを行っている。

フコク製品の詳しい情報は、パキュウムリフト専門サイトへ
<https://www.vacuumlift.jp/>

フコク株式会社 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 575 番地 TEL：045-540-4907 FAX：045-542-0880